

水の本  
あつめ  
ました



毎日の生活のなかで何ができるか考えよう

Think **水** を考える Water

Vol.  
05



災害や事故で断水になったり、トイレが流せなくなったり、そんなときには「水」が話題になるものの、蛇口から水が出ることやトイレが使えることに感謝して毎日を過ごす人はそう多くはないはず。

「水」にもっと関心を持ってもらいたい。字が読める前の子どもでも、「水」の絵本に触れ、ページをめくるだけで、きっと「水」への意識が芽生え、感度が高まるはず。そんな思いを抱いて図書館から借り集めた絵本や図鑑には、専門的な内容がわかりやすく説明されていて、上下水道の初心者が知識を深めることができるものばかり。

地理、歴史、災害や環境問題にも目を向けて取り揃えた約100冊の書籍の中には、すでに絶版となったもの、非売本、貴重な寄贈本、珍しい装丁本や作家のサイン本もあります。

「水」のファンが増えますように。



# 水のひみつ大研究

## 3 水と環境をみんなで守れ

西嶋 渉 監修  
ポプラ社

本書の前半では、水と生きものとの関わりや、さまざまな姿で地球上に存在する水について知ることができます。後半では、生きものが生きていく上で欠かせない水を取りまく環境が、壊れつつあることを教えてくれます。森林破壊、水質汚染、海洋ごみ問題。水にまつわる課題の解決に向けて考える第一歩になる一冊です。



# 水のひみつ大研究

## 4 水資源を調査せよ

西嶋 渉 監修  
ポプラ社

水を必要としているのは生きものの体だけではありません。日本では、一年で琵琶湖の約3倍の水が使われていて、そのうち、約3分の2が農業、約8分の1が工業に使われています。伝統的なものづくりやエネルギーを作り出すことにも水が使われています。水は私たちの生活のさまざまな場面で活用されていることが分かります。



# 水のひみつ大研究 5 世界の水の未来をつくれ

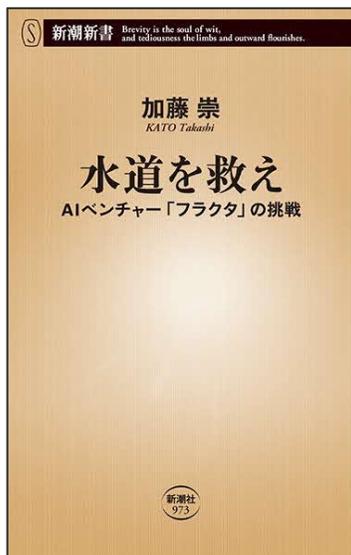
西嶋 涉 監修  
ポプラ社



日本では蛇口をひねればきれいな水を飲むことができます。では、世界の他の国ではどうでしょうか。水がほとんどなくなった国があります。安全な水・トイレが利用できない国も少なくありません。世界の水の未来をつくるために、私たちができることは何か一緒に考えてみましょう。日本の技術を生かした活動も紹介されています。

## 水道を救え AIベンチャー「フラクタ」の挑戦

加藤 崇 著  
新潮新書



水道管は、管の材質や埋まっている土壌、環境によっても寿命が違います。管の劣化のリスク診断、更新の優先順位や時期の見極めにあたり近年「AI」分析を使って効率的に漏水の予防保全を進める自治体もあります。水道事業が抱える課題、水道インフラについて考えることができる一冊。

# いま「水」を考える 1 水道水がとどくまで

沖 大幹 監修  
岩崎書店

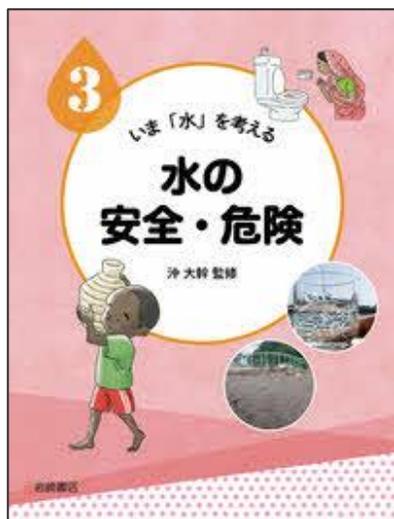
地球上には、とてもたくさんの水がありますが、ほとんどが海にあり塩水なので飲めません。海水が太陽で温められ水蒸気になって、雲ができます。地球を巡る水の旅のはじまりです。水は、私たちの命を支えてくれることがわかる一冊。旅の終わりでは、パッキンやコマが上下することで、水が出たり止めたりできる蛇口の構造がわかります。



# いま「水」を考える 3 水の安全・危険

沖 大幹 監修  
岩崎書店

安全な水とトイレは、毎日の生活には欠かせません。SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」があるように、世界には、汚れた水を飲むしかなく、衛生的なトイレがない国があります。地球温暖化や、水害、水をきれいにする取り組みなど、命を支える水について多方面から考えることができる一冊です。





こちらで紹介している本は、

豊中市上下水道局 1F（開庁日時 平日8:45 – 17:15）で、

ご自由にご覧いただけます。お気軽におこしてください。



お問い合わせ 

豊中市上下水道局

経営部 お客さまセンター 窓口課

豊中市北桜塚4-11-18

 06-6858-2936

 06-6858-0447